

<睡眠時無呼吸症候群外来>

「睡眠中に息がとまっているよ」「いびきが大きい」「目が覚めたら呼吸が荒くなっていた」といったことを経験されたことはありませんか？

睡眠時無呼吸症候群とは、眠っている間に呼吸が止まる疾患です。そのため、熟睡ができずに日中の居眠りで日常生活に差し支える場面もあり、交通事故を起こしかねないことで近年注目されています。肥満の方に多いとされていますが、痩せている方も顔の骨格が小さいことで気道が狭くなり無呼吸が起こるケースがあります。合併症は、高血圧や糖尿病、心疾患、脳卒中などとされており、睡眠時無呼吸症候群も生活習慣病の一環として認識されつつあります。

当院では、自宅で可能な簡易検査から一泊入院の精密検査（ポリソムノグラフィ：PSG）、経鼻的持続気道陽圧療法（CPAP 治療）まで専門的に行っています。医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、臨床検査技師が連携をとり、検査解析や診療、マスク治療のサポートまで当院で行い、質の良い睡眠がとれるように取り組んでいます。

